

稲門フィラテリー 第83号

2022年3月1日発行
<http://www.talcen.com/tofila.html>

藤沢歴史探訪～新風景印と源義経

池澤 克就

2022年1月より放映が開始されたNHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』では鎌倉幕府成立前夜の東国武士の活躍に題をとった様々な人間模様が描かれ話題となっている。折しも2022年2月1日には、わが地元藤沢の二郵便局で新しい風景印が使用開始となったが、いずれも源義経に関わるデザインであった。そこで、これを機会に藤沢と源氏の関りについて、郵趣品を交えて紹介してみたい。

まず、図1を見ていただきたい。藤沢台町郵便局で新たに使用が開始された風景印である。郵便局からほど近い白旗神社の境内にある源義経と弁慶の銅像がデザインされている。我が家でも毎年の初詣はもちろん、二人の子供のお宮参りもこの神社ですませた、なじみのある神社である。風景印の題材にもなった銅像を撮影し、絵葉書に仕立てて使用開始日の風景印を押印した。切手には、若かりし義経(牛若丸)と弁慶が描かれている京都のふるさと切手(1995年発行)を使用した。ここで、奥州平泉で果てた義経がなぜ藤沢の地で祀られているのか、伝承をひも解いてみよう。

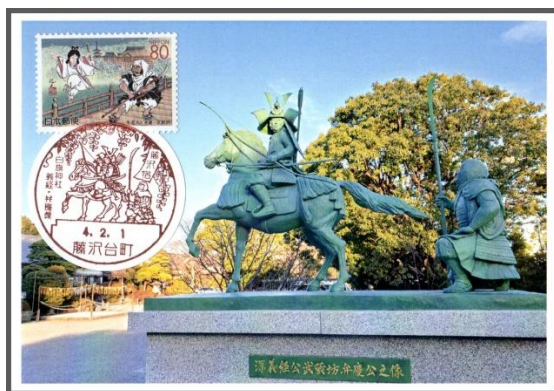


図1 藤沢台町郵便局風景印(源義経と弁慶像)

治承4年(1180)、8月17日、伊豆の蛭ヶ小島(静岡県伊豆の国市)に流されていた源頼朝は、北条一族の助けを得て伊豆の目代であった山木判官・平兼隆を討った。頼朝は続く石橋山の合戦で敗北を喫したものの房総に逃れて再起を果たす。その後鎌倉を本拠地として平家打倒を目指す復活劇は世に広く知られるところである。その頼朝の異母弟である源義経は奥州藤原氏の当主・藤原秀衡のもとに身をよせていたが、頼朝挙兵の報を受けて馳せ参じ、一の谷、屋島、壇ノ浦の合戦でめざ

ましい活躍を見せ、平氏打倒の立役者となった。しかし、次第に頼朝と義経の間に確執が深まってゆく。

義経はその功績に対して、頼朝の許可なく、朝廷から五位尉の位を授かった。本来ならば鎌倉幕府を代表する頼朝が朝廷に推挙して初めて与えられるべき階位である。これは源氏一族の分裂を狙った後白河法皇の画策だったと言われている。また、一説には義経は頼朝の家来を自分の家来のように考えていたとも言われ、いずれ自分を脅かす存在になるのではとの疑念から頼朝に睨まれてしまう。頼朝の軍勢に追われて逃亡生活を余儀なくされた義経は、最終的に山伏姿に身をやつして奥州平泉の藤原氏のもとに身を寄せた。これは頼朝にとっては好都合で、頼朝は、当時まだ鎌倉幕府の支配下になかった奥州を攻撃する大義名分を手に入れたことになった。

かくして文治 5 年(1189)閏 4 月 30 日、奥州・衣川の高館で藤原泰衡に襲撃された義経は自刃、悲壮な最期を遂げた。31 歳であった。義経の首は美酒の入った黒漆の櫃に入れられて腰越の浦まで運ばれ、同年 6 月 13 日、和田義盛と梶原景時が検分、その後境川に投げ捨てられた。首になってもなお、義経は鎌倉に入ることを許されなかったのである。

その後、境川の潮が逆流し、首は今の白旗神社の近くに流れ着いたと伝えられている。村人が首を見つけて丁寧に洗い、ねんごろに葬った。義経の首を洗ったという源義経首洗井戸が今も神社の近くに残っている。(図 2)

このことを知った源頼朝は、白旗が源氏の旗であったことから、白旗明神として義経をこの神社に祀るようにと指示したという。



図 2 義経首洗井戸(藤沢市)

白旗神社がいつ頃建立されたのかは定かではない。鎌倉時代よりはるか以前から相模国にあった寒川神社の寒川比古命を祀っていたとの記録があり、宝治 3 年(1249)に義経を合祀したとされている。

神社の社殿に下がる提灯や幟には源氏の家紋である「笹竜胆」があしらわれ、源氏にゆかりのある神社であることがわかる(図 3)。



図 3 白旗神社の本殿

風景印の題材となった義経と弁慶の銅像は意外と新しく、義経没後 830 年にあたる 2019 年に除幕されている。この銅像建立に当たっては寄付が募られたが難航したようで、私が所属する町内会でも氏子としていくばくかの積立金を供出した。ということは、私もこの銅像の馬の蹄のひとかけら程は貢献していることになりそうである。

ここで改めて二つの風景印を紹介したい。

冒頭でも紹介した藤沢台町郵便局の風景印には、この銅像と、境内に咲き乱れる藤の花が描かれている(図4右)。原作者は佐野絵里子さん。白旗神社の御朱印に押されるイラストのスタンプや、毎年境内に掲げられる干支をモチーフにした大絵馬(図5)のイラストもこの佐野さんが描いている。



図4 藤沢南仲通局(左)と藤沢台町局(右)の風景印



図5 白旗神社境内の大絵馬

もう一つ、同日2月1日に風景印を使用開始したのが藤沢南仲通郵便局。こちらの図案も、同じく佐野絵里さんが原画を手掛けたとのことである(図4左)。描かれているのは白旗神社の社殿と白旗まつりの神輿である。ここ数

年はコロナ禍の影響で中止になってしまっていたが、毎年夏に行われている白旗まつりでは義経神輿と弁慶神輿が町中に繰り出す(図6)。この二つの神輿は屋根の紋で見分けることができるが、風景印に描かれた神輿もきちんとこの紋が描き分けられている(図7)。



図6 藤沢南仲通局の風景印と義経・弁慶神輿



図7 風景印に描かれた神輿の紋
源氏の紋「笹竜胆」(左)と弁慶の紋「輪宝」(右)

平泉で最期を遂げた義経を最後まで守ろうと尽力した武蔵坊弁慶もまた、その首は腰越まで運ばれ、首実検の後はここ白旗神社の傍に流れ着いたとも伝わる。小さな図案の中にも壮大な歴史の絵巻を読みとくことができるのも風景印の楽しみの一つである。

弁慶といえば、白旗神社の社殿脇にひときわ大きな自然石が鎮座しており、「弁慶の力石」と呼ばれている。これはかつて神社の傍にあった茶屋の店先に置かれ、茶屋で一服する力自慢たちがこの石を持ち上げて力比べをしたと伝わる石である。弁慶が持ち上げた石というわけではないが、怪力を誇った弁慶にあやかりたいという人たちの思いが反映されたネーミングと言えるだろう(図 8)



図 8 白旗神社社殿脇にある「弁慶の力石」

ところで、近年では寺社の御朱印を集めている人も多い。私もそれ自体を目的にはしていないが、機会があれば参拝の記念にいただくようにしている。今回も神社をテーマとした風景印ということで、今年の元旦に入手した白旗神社の御朱印をアレンジした台紙を自作し、記念品を作成してみた(図 9)。この御朱印には弁慶との立ち回りを演じたと伝わる牛

若丸時代の義経のイラストが配されているが、これも風景印の原画作者と同じ佐野絵里子さんのデザインとのことである。



図 9 白旗神社の御朱印と風景印

また、白旗神社の境内には大きな藤棚が設けられ、毎年端午の節句の時節には満開となり参拝者の目を楽しませてくれる(図 10)。紫の弁慶藤と白い義経藤があり、これらを撮影した写真を使って記念カードも作成してみた(図 11、図 12)。押印に使用する切手は、本来は 63 円の桜でかまわないのであるが、敢えて 120 円の藤の切手を使ってみた。たまにはこんな贅沢も楽しいものである。



図 10 白旗神社の弁慶藤(左)と義経藤(右)



図 11 白旗神社の弁慶藤と藤沢台町局の風景印



図 12 白旗神社の義経藤と藤沢南仲通局の風景印

藤沢宿

「風景印」で魅力を発信

藤沢台町郵便局と藤沢南仲通郵便局は2月1日から「風景印」の使用を始める。それぞれ白旗神社に祀られている源義経と弁慶をモチーフに、Nで地域の名所や特産品を集めた。

風景印は消印の一種で、地域活性化のため、藤沢地区郷土づくり推進委員会が提案。同郵便局と白旗神社の協力を得て作成することになったという。同会議の高野文夫さんは「風景印をきっかけに、白旗神社や藤沢宿に足を運んでもらい、歴史を知れる機会となれ

ばと期待を寄せる。デザインは、白旗神社の御朱印や大絵馬のデザインを手がける佐野絵里子さんが担当。台町は、義経・弁慶像と藤の花をコラボレーションさせ華やかに、南仲通は義経神興と弁慶神興、同神社の御社殿を模し、魅力も伝えた。佐野さんは「義経と弁慶がセットになって大切にされている白旗神社は、とても魅力的。その魅力を最大限デザインに込めた」と話した。

風景印は同郵便局の窓口で申出があった場合に押印する。郵送で押印を申し込む「郵頼」にも対応している。

写真上：(左から)白井有司藤沢台町郵便局長、高野さん、佐野さん、鈴木大次宮司
写真下：藤沢台町郵便局(左)と藤沢南仲通郵便局の風景印

図 13 タウンニュースで紹介された風景印

YAHOO! JAPAN like***** のポイント プレミアム会員 2020の人気ブランドから商品を選ばす

藤沢宿「風景印」で魅力を発信 義経公や弁慶モチーフに〈藤沢市〉

1/28(金) 19:00配信

townニュース

図 14 Web 版タウンニュースで紹介された風景印

これらの新風景印は、原作者佐野絵里子さんの写真とともに地元紙「タウンニュース」(1月28日号)にもとりあげられ、地元でも話題となった(図13、図14)。風景印のことを知らない人にも興味を持ってもらえる記事となり、嬉しい限りである。自宅最寄りの郵便局が風景印の使用を開始するという機会は生涯において何度もあることではいが、そうした機会に遭遇できたのも何かの縁かもしれない。今後、手紙を差し出す際には積極的にこれらの風景印を使い、義経と弁慶ゆかりの地である藤沢のアピールに努めたい。

【参考文献】

- ・永井路子 『つわものの賦』 文春学藝ライブラリー(2021)
- ・泉秀樹 『歴史を歩く 深堀り神奈川』 PHP 文庫(2015)



見偏手切

長寿切手の年輪を読む 年賀切手

長寿切手で最後に整理したいのが年賀切手である。1935年から3年発行され、その後1947年まで中断し、国体、切手趣味週間に遅れたが、1948年に再び発行された。そこで戦後、戦前と別けて整理していきたい。

戦前の年賀切手3種

1935, 36, 37年に発行枚数3億枚発行された年賀切手、その発行には異なる経緯があったようだ。1934年に年賀郵便取扱が7.2億通に増加。効率的に処理するため、特別取扱期間内差出を目的に年賀切手発行が決定され、12月20日から29日が差出期間、年賀



郵便以外の使用は1月1日以降ということで発行された。100枚シートと20枚の小型シートがタトウも準備され発行された。



1935年発行年賀切手と小型シートとタトウ



1936年発行



1937年発行

1936年は公募したが1等該当なく、2等の図案をグラビア印刷機を持つ大日本印刷に委託し、大正透かし入り毛紙に印刷。前年同様に年賀以外の使用は1月1日以降として発行された。

1937年徐々に戦時体制となり虚礼廃止の動きの中、年賀切手として発行できず使用期間を設けず、旭光と鳥居の柱を背景に環飾りの図案を普通切手として発行した。しかし年賀状は激減し、3.27億枚発行されたが半数以上の1.85億枚は売れ残り、破棄された。この後1948年まで年賀切手は発行されていない。

戦後の年賀切手

11年ぶりに1948年、年賀切手が発行され、表1に示すように国体に次ぐ長寿切手になっている。

1. 種類

年末に翌年の干支にちなむ図案の切手を発行し、その切手の小型シートを1月中旬年賀はがきの景品として発行するスタイルで継続している。細かく見ると、1949年に年賀切手の発行はなく、この年から市民の発案で年賀はがきが発行され、翌年2



1949年初の年賀切手



1948年戦後初の年賀葉書

表1 戦後の年賀切手発行の推移

	発行種	発行枚 数 万枚	小型シート 切手数	特記事項
1948年	1	760		縦長大
1949年	0	年賀はがき発売開始		
1950年	2	1000	5	大型
1951年	1	1000	5	タトウ
1952年	1	1000	4	タトウ
1953年	2	1000	4	1952～66年は年賀切手額面は葉書料金5円だが、この間年賀状は4円で出せたため年賀切手なのに年賀状に使った例が少ないといわれる。
1954年	1	500	4	
1955年	1	600	4	
1956年	1	600	4	
1957年	1	800	4	
1958年	1	1500	4	
1959年	1	1000	4	
1960年	1	800	4	
1961年	1	1000	4	
1962年	1	1500	4	
1963年	1	2000	4	
1964年	1	3300	4	
1965年	1	3500	4	
1966年	1	10000	4	
1967年	1	7000	4	普通切手サイズ開始
1968年	1	7000	4	
1969年	1	7000	4	料金変更
1970年	1	7000	4	
1971年	1	7000	4	横長
1972年	2	15000	3	
1973年	1	10000	3	横長
1974年	1	5000	3	
1975年	1	8000	3	
1976年	1	5000	3	
1977年	1	5000	2	
1978年	1	5000	2	
1979年	1	5000	2	
1980年	1	5000	2	
1981年	1	5000	2	
1982年	1	5000	2	
1983年	1	7000	2	
1984年	1	7000	2	

	発行種	発行枚 数 万枚	小型シート 切手数	特記事項
1985年	1	7000	2	
1986年	1	7000	2	
1987年	1	7000	2	
1988年	1	7000	2	
1989年	2	9000	2	最初のくじ付切手1種
1990年	3	10500	2	くじ付切手2種
1991年	4	9000	2	くじ付切手は寄付金付
1992年	4	8800	2	
1993年	4	8700	2	
1994年	4	8500	2	
1995年	4	8500	2	
1996年	4	8500	2	
1997年	4	8500	2	
1998年	4	8500	2	
1999年	4	8500	2	
2000年	4	8300	2	
2001年	4	8100	2	
2002年	4	7300	2	
2003年	4	6600	2	
2004年	4	10100	2	
2005年	4	6170	2	
2006年	4	5690	2	
2007年	4	5180	2	
2008年	6	4455	2	
2009年	4	4105	2	
2010年	4	3865	2	
2011年	4	4385	2	
2012年	4	4365	2	
2013年	4	4395	2	
2014年	6	4665	2	海外用切手で2種
2015年	4	4155	2	
2016年	4	3325	2	
2017年	6	3110	2	小型シート用切手2種
2018年	6	3030	2	小型シート用切手2種
2019年	8	2704	4	特別年賀シートで2種+
2020年	6	2440	2	小型シート用切手2種
計72年	182	483957		

月1日に虎年賀を80枚シートで普通切手として発行した。これは同日発行の虎年賀の小型シートのため、制度上必要で発行された切手であり、時期的に年賀状に使用されることは不可能な切手で、厳密には年賀切手ではない。ウサギと少女切手も同様に小型シートを作るための切手である。その後三春駒までの2種の年賀切手も元日以降の発行であり、現在の12月差出の慣例では年賀状使用にならない年始切手であった。

年始と年末発行の切り替えで2種発行に



無目打の年賀切手



1950.2.1発行 目打ありの虎切手は厳密には2円普通切手の年始切手



1951.01.01



1952.01.16



1953.01.01

年が明けてからの発行の普通切手の年始切手



なった 1953 年と、1972 年 7 円宝船切手が、翌 73 年 2 月の郵便料金変更で、このまま採用できないため、料額を 10 円として、小型シートで発行。また制度上、普通切手として発行する必要があり地色を変更して 100 枚シートで発行された。この 2 種発行以外は 1989 年封書用切手加わるまで 1 種発行である。

1992 年以降 2016 年までは、はがき、封書用に寄付金・抽選番号付と無しの 4 種の発行が続いた。その間 2008 年発行のお年玉小型シートに年賀切手とサイズ・図案の異なる切手を使用した。

この間に制度変更がされたのであろうか、普通切手の発行なく小型シートは発行された。その後、2017 年以降年賀切手の図案とは全く異なる図案の切手の小型シート発行へと連なっている。



はがき用年賀切手と小型シートの同額切手



2017 年より普通切手発行の縛りなくデザインも新たに小型シートに登場

また、2014 年には『平成 27 年用海外年賀切手 (差額用) Special 18yen Stamps for International Airmail Postcards』

International Airmail Postcards』という 2 種の切手が発行され 6 種の発行になっている。この差額用切手はキジ航空切手以来 55 年ぶりである。しかし、年賀切手としては 1 年だけ、その後 4 年は『海外グリーティング (差額用)』となり、5 年目には国際文通週間切手の 1 種になった。海外用としてのデザインが問われたのであろう。この切手は下記のように国際文通週間に 2 種の切手の発行をもたらしたと考えられるが、普通切手への配慮が検討されてもよかったのではと考える。

更に、2019 年には 4 月に再度抽選を行い 500 円切手 2 種の特別小型シートを 5 月に



平成 27 年用海外年賀切手 (差額用)

Special 18yen Stamps for International Airmail Postcards



2015 年発行 2016 年発行
海外グリーティング (差額用)



2017 年発行 2018 年発行
海外グリーティング (差額用)

年賀切手と同日発行のグリーティング切手
他グリーティング切手同様発行年表示なし



年賀切手差額用が最終的に国際文通週間切手の差額用に変化した。同時に海外宛はがき用切手も発行される。



2019 年特別年賀シート
賞品のシールにはシリアル番号が入り、通信販売されたものにはシリアル番号はない。



くじ付のみの年賀切手はこの3種のみ
1989 年のはがき用のみ 1990 年に封書用年賀切手がくじ付で最初に発行される。



1991 年以降くじ付年賀切手は全て
寄付金付となって今日までつく

発行し、発売もされた。また封書用年賀切手、くじ付、寄付金付切手が 1980 年代終わりから相次いで発行された。

2. 発行枚数

発行枚数(各年、年賀切手全体合計)の推移は表 1、図 1 の通りである。突出する年の 1971 年の宝船は郵便料金値上げ対応の発行の結果である以外理由が考えにくい。全体的に見ると 2000 年以降、発行枚数減少は明らかである。年賀郵便としてウェイトの高い年賀はがきの発行枚数は図 2 の通りであり減少傾向

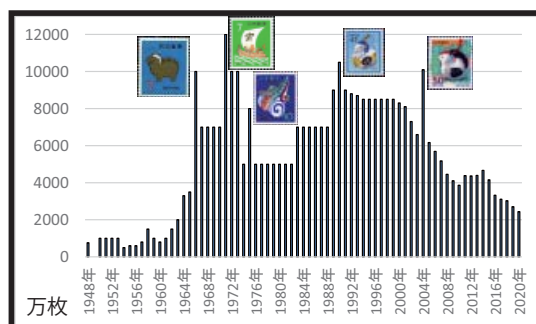


図 1 戦後の年賀切手の発行枚数の推移

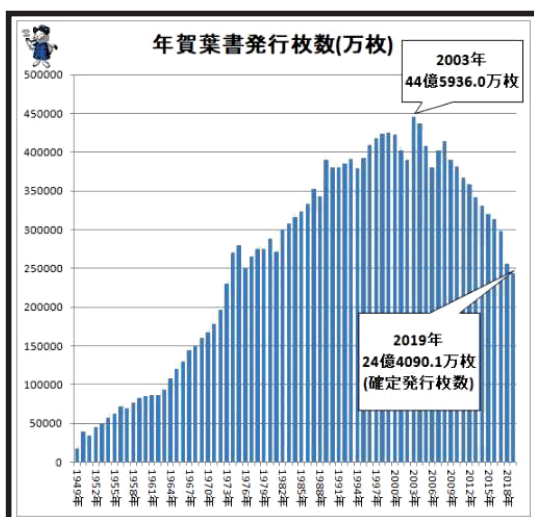


図 2 戦後の年賀はがきの発行枚数の推移

参考 郵便物配達数の推移をさぐる (2020 年公開版)
<https://news.yahoo.co.jp/byline/fuwarai/20200804-00191586/>

向はかなり異なり、はがきより早く減少がはじまり、減少の速度も速いようである。蛇足ながら、年賀はがきについてはオイルショック (1975 年)、バブル景気 (1989 年)、いざなぎ超え景気 (2003 年)、リーマン・ショック (2008 年) と景気の変り目で発行枚数が増えているという見方もあるが年賀切手には見られないようだ。

角度を変えて発行枚数を考えたい。年賀切手と他の長寿切手(国体、国土緑化、切手趣味、国際文通)で発行枚数の推移に違いがみられるか否かである。年賀郵便という目的で発行される年賀切手は、他の長寿切手とは異なる。

先ず、件(同日、同目的発行を 1 件、第 3 回国体 4 種を 1 件とするように)で発行

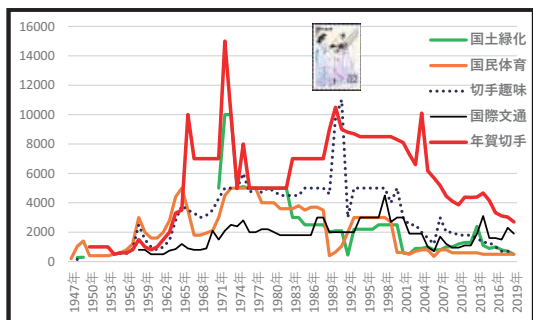


図3 発行件別長寿切手の発行枚数の推移

枚数を整理したのが図3である。1956年～1964年に他長寿切手の発行枚数が多い以外は年賀切手の発行が多く、年賀切手の役割が示されている。その中で1990年切手趣味週間が年賀切手より多く、この切手の発行が普通でないことを改めて認めた。次に、発行種類を考慮し1種の平均発行枚数で整理したのが図4である(寄付年賀除外)。全体的に年賀切手の性格を考えると、もう少し他の長寿切手より多くてもと考えられる結果である。特に1990年～2000年にかけては他の長寿切手の1種当りの発行枚数は年賀切手に比べ多く、乱造されていたことが示されている。その後は長寿切手全体の発行枚数が少なくなっている中、年賀切手は役割を示して一定の発行枚数を維持している。

3. サイズと図案

切手サイズは特別シートを除き、右上のように8種のサイズで発行され、2021年にはシール変形切手が発行され、今後、グリーティング切手のように増えていくのであろうか。

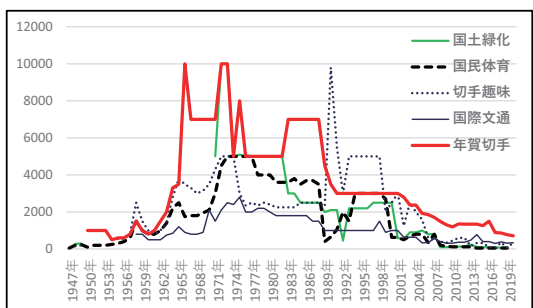


図4 長寿切手の平均発行枚数の推移



24種

1種



63種



86種



4種



4種



小型シート 2種

年賀切手のサイズを整理

図案は干支の動物に関連したもので全体の86%を占め、中でも干支動物の郷土玩具がその94%を占め、例外的に干支動物の絵、写真が切手に見られる。また縁起物の人形、絵画工芸品などがみられる。



干支に関連ない郷土玩具、人形



梅竹透鈿燈籠
1973年発行年賀切手



桂離宮襖と釘隠し
1974年発行年賀切手



干支の動物
写真

4. 小型シート

2019年の特別シートを除くと戦後1950年から毎年発行され計72種になる。構成する切手の数は5枚から徐々に減じ、5枚2年、4枚20年、3枚5年、2枚45年、種類は、はがき用切手1種が39年、はがき+封書用切手の2種が33年発行されている。その中で1987年～90年の4年は封書用年賀切手でなく慶賀用折鶴切手が使用されている。2008年はデザインは似ているが2種ともサイズが大きくなり、景品だけでなく購入もできた。また、2017年以降は小型シートのために郷土玩具でなく全く新しいデザインの2種の切手が小型シートになっている。これらは海外で印刷され、年賀切手は印刷局印刷という従来の慣例から外れている。これらの新デザインシートには新たな表現が加わった。それは図形、文字等の型抜き、変形目打である。また、小型シート発行当初の1950、51年にはタトウが発売され、現在とは違ったあつかいを受けていたことが感じられる。

小川義博



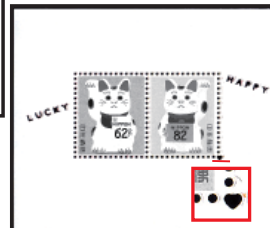
1987年～1990年
慶賀用折鶴切手使用

年賀切手と異なる切手の
小型シート 2008年

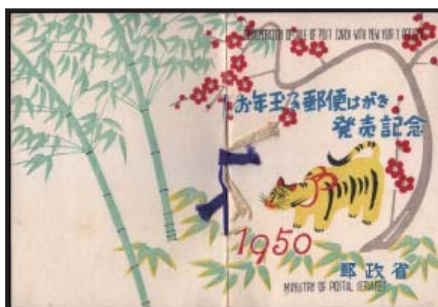


縦長小型シート 1975,1985年の2年

2017,18,19年デザインを一新、外国で印刷、変形目打、文字、多孔模様などがなされた。



2021年から
シール小型シートに
何か有難みが減ったか



木版画の表紙・複数のページのタトウ



郵政省以外に郵便友の会もタトウを準備

切手・鉄道模型のテラリウム

青柳 次男

大学入学共通テストで不正が発覚したと、TV や新聞で騒いでいる。どうやらスマホを使ってカンニングしたらしい。私たちの時代に比べるとカンニングの方法も随分と進歩したものだ、と感心するばかりだ。そんなニュースを耳にして、否、目にして、自分の入試時代を思い出した。60 年も昔のことになる。大学に受かる自信が全くなかった私は、親に無理を言って 7 校分の受験料を貰った。そして、先ず、4 校に願書を提出した。今もそうかもしれないが、願書には高等学校の発行する内申書を添付しないとならない。内申書も 7 通入手した。4 校にしか願書を出さなかったのも、内申書は 3 通手元に残った。その中の一通をそっと開けてみた。確認するまでもなく、惨憺たる数値が並んでいる。それなのに「教師所感」として、「この通り成績優秀で・・・」と記してある。所感の記入に先生も大変苦労されたことと思う。願書を提出した 4 つの試験は、続けて実施された。連日、寒い日で、試験が終わるとその結果を予想して、益々寒さが身に染みたのを覚えている。そして、不合格が 2 回続いた。3 つ目もアウトだったら、残りの 3 校に願書を出そうと心に決め、発表会場に出向いた。いや、出向けなかった。家でグズグズしているところに、姉から電話が入っ



た。「受かってるヨ!」。寒さをものともせず外に飛び出し、発表会場に向かい自分の受験番号 8213 を確認した。入学手続きの書類を受取り、ルンルンな気分での帰宅・・・しなかった。懐には、いつにない大金? 願書未提出 3 校分の受験料。足は御茶ノ水に向かう。その頃、切手商のお店を一つでも知っていたら、手彫りの一枚くらい手に入れられたのと思う。でも向かった先は、模型店。小学生時代から、何としても手に取りたかった鉄道

鉄道模型の種類（一例）		
ゲージ名	縮尺／レール幅	特徴
G	縮尺 1/22.5	独語で大きいを意味するGrossの頭文字が名前の由来。
	軌間 45mm	
O	縮尺 1/43, 45, 48	当時の1番～5番の模型より小さいO番という意味。後に、O→0に。
	軌間 32mm	
HO	縮尺 1/87	0ゲージの半分Half から命名。
	軌間 16.5mm	
TT	縮尺 1/120	1950年代の米国生まれ。テーブル上で遊べるTable Topから命名。
	軌間 12mm	
N	縮尺 1/148～180	英語Nine、仏語Neuf、独語Neunの頭文字。日本でのシェア80%
	軌間 9mm	
Z	縮尺 1/220	これより小さい模型は、将来無いとの意味からZと命名。
	軌間 6.5mm	

模型。裕福な家の子がクラスにいて、その家に遊びに行くといつも鉄道模型を走らせてくれた。3本レールの上を、機関車が客車や貨車を連結してコトコトと走る。「レールは何で3本なんだ?」、「何で、架線は無いんだ?」と、当時は随分と不思議に思った。しかし、友達の持ち物。見せてもらうだけで満足。そんな質問は、ぐっと呑み込んだ。その後も、鉄道模型を手にすることはできなかったが、わずかに知識を増やし、鉄道模型には、レールの幅や形状によって種類があることを理解するようになっていった。0ゲージはレール幅が32mm。そして、レールの数は3本。今は、2本のものがある。H0ゲージ(Half 0 Gauge)は、レール幅が16.5mmで、数は2本。Nゲージ(Nine Gauge)は、レール幅が9mmで、2本レール。そして、Zゲージ。日本では「ロクハン」と呼ぶようにレール幅は、6.5mm。御茶の水に向かった時、私は、このZゲージを全く知らなかった。また、Nゲージもポピュラーではなかった(と記憶している)その為、小学生時代に芽生え、なかなか実現できなかった鉄道模型への夢は



この時、2本レールのH0ゲージ模型に向かっていた。

H0ゲージ鉄道模型一式を手にした私は、これを土台に、ジオラマを作ることが学生時代の目標に定めた。ところが、「授業料は自分で払う」という親との約束がネックになった。アルバイトで入るお金は、全て授業料に。入会した切手趣味の学内サークルで、切手商を教えてもらったものの、そこに通うこともままならず、ジオラマにも全く手が回らない。

失意?のまま社会人になったある日。こんな広告が目に入った。



Märklin
Mini Club。
機関車がパイプの上に
乗っている。

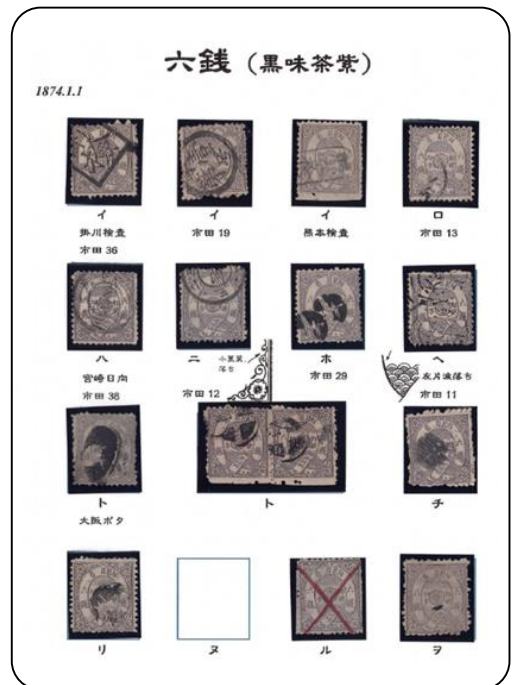
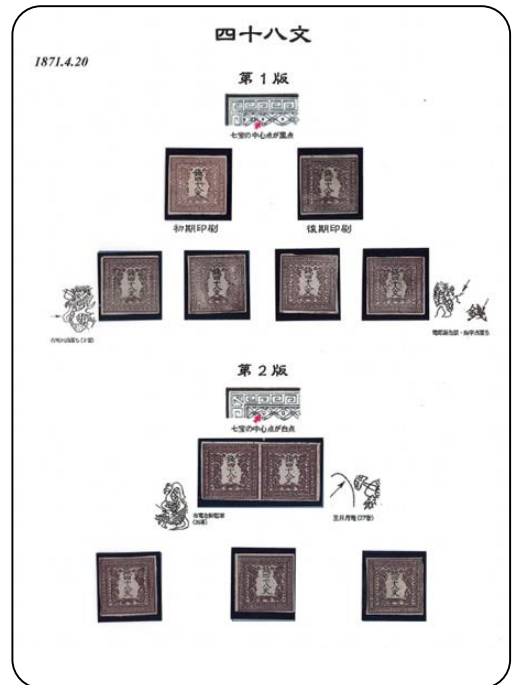
小さい。こんな模型があるのか。衝撃は大きかった。直ぐにH0ゲージの模型を甥っ子に譲り、MärklinのZゲージに焦点を変えた。ところがいろいろと調べるうちに、その価格から、社会人1年生には到底手の届かないことが分かった。やっと手にできた時、年齢はすでに還暦を超えていた。銀座の片隅にある6階建てのビル。エレベーターが無く、弱り始めた足を労り、ショールームに到着し、初心者向けのモデルを手に入れた。そして、その時から、Zゲージのジオラマ作成が、これから冥土に向かうまでの目標になった。



前述の通り、学生時代のアルバイト代は、すべて学費に費やされた。そのため、鉄道模型どころか、郵趣のサークルに入会したのに欲しい切手を購入することもできなかった。そのころ雑誌に掲載される切手商の広告には、必ず、世界で最初の切手、日本で最初の切手の写真が載っていた。



切手を集める以上、何とかして、この2枚の切手は手に入れたと思っていたが、鉄道模型と一緒に、還暦を過ぎてから、やっと、私のストックブックの住人の仲間入りをさせることができた。その他、通信記念日の小型シート、見返り美人と月に雁等、何としても手に入れたかった切手を、揃えていった。そして、古希寸前、絶対に入手不可のものを除いて、手彫り切手を一応アルバムに整理することができた。和紙墨六のヌは、未入手だが。



いま、テラリウム作成に人気があると、先日、TV で紹介されていた。ジオラマもテラリウムということができるだろう。その流行に乗るわけではないが、何とか Z ゲージのテラリウムを完成させたい。集めた切手をアルバムに整理することも、テラリウムといえるのではないだろうか。切手と Z ゲージのテラリウム作成。冥土へ旅立つまでのあと数年。拡大鏡を覗きながら、ピンセットを使って作業していきたいと考えている。大学入学共通テストの不正に関するニュースから、話がおかしな方に進んでしまった。

長々と私の思い出話にお付き合いいただきありがとうございます。いつか、私の切手と Z ゲージのテラリウムをご覧いただけたらと思っています。



お年玉年賀ハガキ

毎年、郵便局からのお誘いで年賀ハガキを購入している。昨年末も同様に 11 月末、500 枚のハガキが届いた。12 月 10 日に、印刷をしようとその梱包を開いてビックリした。中には普通ハガキが 500 枚。「ナンダッ！コレハ」と、直ぐに郵便局に連絡した。担当の女性が、優しく対応してくれた。その女性の言う通り、暫く待っていると、連絡がきた。「お客様、お申し込みが、普通ハガキ 500 枚になっています」そんなバカな。手元の控えをみると、「年賀ハガキ 500 枚」となっている。暫しその優しい女性と押し問答したが、「それでは、年賀ハガキに交換してください」、と頼んでみた。すると、「月が替わって 12 月になっておりますので、交換はできません」。エッ！！！！どうして、と思ったところで、女性の返答を変えることはできず、やむを得ず、その場で新たに 500 枚の年賀ハガキを頼むことになった。年賀ハガキの購入申し込みなのに、普通ハガキの申込があつたら、不思議に思わないのか。確認の連絡をしてくれても良いんじゃないか。それに、何故、月が変わったら交換できないのか……。しかし、そんなことがあったため通常より注意をして作業したので、1 枚の失敗もなく印刷は完了した。

年が明けて、500 枚の普通ハガキを切手に交換してもらおうと郵便局に足を運んだ。1 枚 5 円の手数料が取られるのは仕方がない。こんな時だから、いつもは購入しない「シール切手」に交換してもらおうべく、しっかり計算して窓口に立った。「普通切手にしか交換できないんです」冷たい言葉が返ってきた。「そういう規則になっていますので」と言葉が続いた。

日本郵便は、民営化されたと聞いていますが、これも民営化の 1 つの姿なんでしょうか。この年末年始に、民営化した日本郵便さんの姿を垣間見させて頂いた気がいたします。因みに、今年のお年玉当選は、例年通り、小型シート（シール？）数枚でした。（編集子）

■常設切手展の終了と切手教室などの会場変更について

永年会場として利用させて頂いておりました新宿北郵便局の施設が、改修のため使用できなくなりました。従いまして、常設切手展は54回をもちまして2022年2月末で終了とし、切手教室などの会場は、別の場所に移すことといたしました。新しい場所などにつきましては、現在検討中ですので、決まり次第、お知らせいたします。（総務担当）

■公益財団法人日本郵趣協会への登録団体加入申請について

当稲門フィラテリーは、本年1月19日、公益財団法人日本郵趣協会の登録団体への加入を申請いたしました。登録団体になりますと、同協会の会議室（切手の博物館内）借用等が可能になります。日本郵趣協会の2月末の会議で、当申請が審議されるということです。結果が分かり次第、ご報告いたします。（青柳記）

◇編集後記◇

この会報がお手元に届くころには、冬季オリンピックが終了し、パラリンピックが始まっている頃かと思います。それにしても、最近の選手は、若いですね。高梨選手が、「自分たちの時代は終わった。」と言っていますが、彼女は、まだ25歳。スポーツ界の世代交代は早いのでしょうか。私たちの会も若い人達にバトンを渡す時期でしょう。可能な限り早く。

■高田馬場駅スタンプが期間限定で復活



1980(昭和55)年、国鉄で「わたしの旅」キャンペーンがスタートし、全国約740の駅にスタンプが置かれました。角の丸い四角形や家形をした太枠のスタンプに見覚えのある方も多いのではないのでしょうか。今年2月1日から3月6日までJR東日本で「懐かしの駅スタンプラリー」が開催されましたが、それに合わせて当時の駅スタンプがサイズを縮小して期間限定で復刻使用されました。高田馬場駅でも流鏑馬を描いたスタンプが設置されていたので、新宿馬場下郵便局の風景印をあわせてみました。せっかくなので期間を限定せずずっと設置してほしいですね。（池澤記）

発行日：2022年3月1日

発行・著作：稲門フィラテリー

発行人：青柳次男

〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4階

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：池澤克就 青柳次男

本会報からの無断掲載・複製は、メディアを問わず禁止します。